

3. 成人・老年看護学実習

成人・老年看護学実習

1) 実習目的

成人・老年期にある患者を総合的に理解し、健康問題の経過やレベルに応じた適切な看護を実践する能力を養うとともに、社会復帰にむけ、保健・医療・福祉の連携と看護の役割について理解する。

2) 実習目標

(1) 老年看護学実習

- ①実習施設の機能と役割を理解する。
- ②老年期の特徴をふまえた関わりを理解する。
- ③対象者を全人的に理解する。
- ④対象者の日常生活を支援する。
- ⑤QOLを考えた援助について考察する。
- ⑥施設における老年看護の役割について考察する。

(2) 周手術期看護実習

- ①手術療法を受ける手術前の対象とその家族を総合的に理解する。
- ②手術を受ける患者を取り巻く治療環境と身心への影響が理解できる。
- ③手術後の全身状態を観察し、回復を促進する援助ができる。
- ④患者の生活状況を考慮し、社会復帰に向けた支援ができる。
- ⑤チーム医療における看護師の役割、他職種連携が理解できる。

(3) 健康回復支援看護実習

- ①発達段階の特徴を踏まえ、健康問題をもつ対象とその家族を理解する。
- ②対象の健康問題を理解し、健康状態をアセスメントできる。
- ③対象の健康状態に応じた看護援助を実践する。
- ④多職種との連携を通して看護師の役割を理解し、社会資源の活用方法や退院に向けた支援を理解する。

3) 実習単位と時期

実習科目名	単 位 数	時間数（日数）	実習時期	実習施設
老年看護学実習	2	90(12日間)	3年次前期	介護老人保健施設保健施設 介護老人福祉施設
健康回復支援看護実習	2	90(12日間)	3年次全期～4年次前期	病院
周手術期看護実習	3	120(15日間)	3年次全期～4年次前期	病院